

奈良地区防犯協議会地域安全推進委員西の京支部（奈良県）



皆さんこんにちは。地域安全推進委員西の京支部の発表を行う飯田です。どうぞよろしくお願いいたします。

防犯ボランティアフォーラム 一近畿ブロック

奈良県

地域安全推進委員 西の京支部

繋がる！ 見守る！ 呼びかける！
安全安心な地域を目指して

2020年11月 7日
支部長 飯田元親

1

1. 活動地域

奈良県奈良市
西の京交番管内 六条小学校校区

人口 約15,000人
世帯数 約6,800世帯

2

私たちの活動地域は奈良市北西部に位置し、近鉄西ノ京駅、薬師寺や唐招提寺があります。西ノ京駅の西側、東西約2.5キロ、南北約1.5キロ、この範囲が私たちの活動地域です。人口は約1万5,000人、世帯数は約6,800世帯です。

活発な地縁団体の活動

- ・地域では種々の地縁団体が組織され、それぞれ活発な活動をするともに、**地縁団体会議**等を軸に有機的に連携を図っています。

地域安全推進委員西の京支部以外の主な地縁団体

- 六条校区自治連合会（5ブロック 34自治会）
- 六条校区自主防災防犯会
（自治会代議員・地縁諸団体代表・幼小中学校長及びPTA代表、青色パトロール隊・防災士会）
- 六条地区民生児童委員協議会
- 六条地区社会福祉協議会
- 六条校区学童安全委員会（スクールガード）
- 六条校区万青クラブ協議会

3

2. 団体（地域安全推進委員西の京支部）の概要

- ・奈良市長と奈良警察署長の連名委嘱を受けた**地域安全推進委員**（任期2年、再任可）で組織する地域安全活動をする団体です。
- ・警察からの各種協力要請や犯罪防止啓発活動に加え、**地域に根差した独自の活動**を行っております。

4

この地域には、7団体が参加する地縁団体会議というものがあります。この会議では、各会の報告、提案、協議が行われており、各団体の横の連携が取れるようになっております。西の京支部の他に、自治連合会、自主防災防犯会、民生児童委員協議会、社会福祉協議会、学童安全委員会、万青クラブ協議会、この7団体で会議をしています。

私たち地域安全推進委員は、奈良市長と奈良警察署長の連名で委嘱されて、地域の防犯活動をする団体です。活動には大きく分けて2つ種類があり、1つは警察からの協力要請を受けて行う犯罪防止啓発活動、もう1つは地域に根差した独自の活動があります。

多彩なメンバーたち

- ・メンバーは現在22人です。
- ・メンバーそれぞれは地域安全推進委員活動の他にいろいろな地域ボランティア活動を行っています。

自治連合会役員・ブロック長	3名(+2)
単位自治会自治会長	3名(+11)
自主防災防犯会役員・代議員	4名(+3)
青色パトロール隊員	7名
スクールガードメンバー	7名
民生児童協議会役員・民生児童委員	3名(+2)
奈良市交通安全指導員	2名(+2)
応急手当普及員	5名(+1)
防災士	9名
奈良県くらしの安全・安心サポーター	2名

注：()内は過去に経験がある者

5

3. 活動内容

3-1. 警察からの協力要請/犯罪防止啓発活動

- ◆地域安全運動奈良県大会出席
- ◆チャレンジ絆実施地区代表者講習会出席
- ◆少年健全奈良県カンファレンス出席
- ◆「特殊詐欺」撲滅の集い出席
- ◆年末地域安全パレード出席

3-2. 地域に根差した独自の活動

上記に加えて、H26年から、各地縁団体と連携協力して安全・安心な地域づくりのため、独自活動を開始当初は手探り状態でしたが、年を追うごとに活動の幅を拡げてきました

6

現在メンバーは22名ですが、メンバーは他のボランティア活動にも参加しております。例えば、自治連合会の役員が3名。過去に連合会に役員をしたことのある人を含めると5名になります。自治会長が3名、自主防災防犯会4名、青パト7名、スクールガード7名、民生委員が3名、このような経験を持っている人たちの集まりで活動しています。

(1) 定例委員会開催(月1回=12回/年)(H26年開始)

- ・奈良署の宮本防犯アドバイザーが毎回出席
- ・活動の具体的な計画を話し合うとともに犯罪情勢を学び、地域での防犯活動を検討する

思ったことを何でも言い合える、
前向きな議論ができる会議が生まれた

7

(2) ATM立ち合い(6回/年)(H26年開始)

年金支給日(偶数月15日)に
地域のATM 4か所 で
振り込み詐欺防止の啓発チラシを配布し
注意喚起を行う



8

私は、平成25年11月に地域安全推進委員の委嘱を受けました。その時に先輩方から聞くと、警察からの協力要請があれば参加するということでしたが、疑問に思ったのは、せっかく委嘱されたのに地域に根差した活動が少ないということでした。早速活動について提案し、議論を重ねたのですが、なかなかうまくいかない。何をしたらいいのか分からないし、今まで委嘱された委員の方は今までどおりでいいという意見をお持ちで、なかなかうまくいかない。そこで、平成26年から2か月に1回、定例会を開催することにし、いろいろ話し合いました。我々は防犯に関しては素人ですから、奈良署の防犯アドバイザーの方に毎回出席をお願いして、助言をいただきながら活動の検討に入りました。

その定例会で初めて決まった活動は、ATMの立ち合いです。年金支給日である偶数月の15日に、私たちの地域に設置された4か所のATMで、特殊詐欺防止啓発活動のチラシを配って、啓発活動を行いました。皆さんから返ってくる返事は「私はお金が無いから大丈夫よ」「この話は知っている。だから大丈夫だよ」という話がほとんどでした。先日、県警本部でお話を聞き、被害に遭われた方の9割は特殊詐欺について知っていたけど被害に遭った、ということを知り、今までの活動を見直さなければいけないと感じました。今後、より効果的な活動の仕方を考えていきたいと思っています。

(3) 防犯パトロール (各自適宜) (H30年開始)

- ◆ 定例会にて委員から提案
- ◆ H30年1月にパトロール実施中のプレートを作製/配布
- ◆ H30年2月に初動式自動車、バイク、自転車による防犯パトロールを開始



9

(4) ながら見守り活動 (各自適宜) (H31年開始)

- 花壇の水やりや草木の手入れなどに「ながら声かけ」
- 犬の散歩・買い物時を利用して「ながらパトロール」
- ご近所の方とおしゃべりでも「ながら見守り」

- ◆ 奈良警察の『ながら見守り運動』に合わせて学童安全委員会/自治連合会が『ながら見守り』のお願い書面を全戸配布したが、実効が上らない⇒一歩踏み込んだ取り組み
- ◆ H31年4月にワッペンを完成させ、5月より地域安全推進委員で試行を開始した。
- ◆ 7月には小学校の理解を得、地縁団体会議へ提案し、参加を求め、本格実施に至った。
- ◆ 地域安全推進委員のみで2704回/年活動
- ◆ 現在

参加者	116名
参加団体	4団体



10

また、私たちは、地域の方々に防犯についてもっと知ってもらおうと考え、平成30年から防犯パトロールを始めました。防犯パトロールのマグネットプレートを作り、どこかに行くときは必ず自動車や単車、自転車にマグネットプレートをつけて、防犯パトロールをしています。

さらに、私たちは「ながら見守り活動」も行っています。子供たちの犯罪被害が多い下校時に、日常の生活を行いながら、子供たちの安全を守っています。例えば、花壇の水をやりながら、犬の散歩や買い物をしながら、子供たちを見守っています。

当初、全戸に「ながら見守り活動」を呼び掛ける書面を送りましたが、パトロールしていても、やっているのかやっていないのか、よく分からないという問題がありました。そこで、活動していることをアピールするためにワッペンを作りました。当初は、委員だけがワッペンを付けていましたが、地縁団体会議で協力を呼び掛け、4つの団体から賛同を得ました。現在では116名で活動しています。ちなみに、22名の地域安全推進委員は1年間で、2,704回実施しました。

(5) 通学危険箇所：安全チラシ配布 (年10回) (H28年開始)

西の京交番・スクールガード・交通安全指導員とともに六条小学校周辺の通学危険箇所5か所で5日に亘りドライバーに対して交通安全チラシを作成・配布、安全運転呼び掛けH29年からは西の京高校生も参加



西の京
高校生活
ティッシュ
カバー



11

(6) ゾーン30の設定と啓発活動 (R2年実施)

六条小学校周辺道路をゾーン30(制限速度30km/H)の設定を地縁団体で行政に要請、R2年に実現した
ドライバーへの啓発活動をR2年9月に学童の登校時間帯に2日間に亘って実施した
(延14名参加)



12

また、子供の交通事故を防止するため、通学路の危険箇所啓発活動を行っています。交通安全運動が実施される春と秋に、それぞれ5日間、5か所で実施しました。警察官が車を止めて、私たちが自作したチラシを配るという方法です。この活動を継続して行っていると、近くの西の京高校から「この活動に私たちも参加したい」というありがたい申し出があり、一緒に活動することになりました。啓発活動の際に、高校生が作ってくれたティッシュカバーを運転手に配布しました。高校生が四つ葉のクローバーを50~60枚探して、ティッシュカバーの中に入れてくれました。私たちの心も温まりましたし、受け取られた運転手の方も心が和まれたことだと思います。

今年は、小学校付近の通学路で「ゾーン30」における啓発活動を行いました。「ゆっくり走ろう! ゾーン30地区」と書かれたプレートを持って、10m~20mおきに私たちが立って速度遵守を呼び掛けたのです。2日間実施したのですが、この活動は非常に良かったと思います。1回止めても過ぎてしまえばまたビューっとスピード出して走る人が多いのですが、この方法で速度遵守を呼び掛ければ、なかなかスピードが出せない。これは効果的な啓発活動かと思います。

(7) 年末特別警戒・啓発チラシ配布

(1回/年) (H26年開始)

昔は警察官が商店を訪問して
『歳末の防犯』と呼び掛けていた

年末に地域内の各商店約100店舗を
訪問して、啓発チラシを配布し、
防犯と呼び掛ける

13

(8) 地域の犯罪情報を全戸回覧・全戸配布

(1~2回/年)

- ◆悪質廃品回収業者にご注意！(H28/9)
地域で発生した事件について自治会回覧で、
注意喚起
- ◆特殊詐欺にご注意！(R2/9)
特殊詐欺の被害増加、防犯電話推進の啓発ビラ等
3種を自治連合会
の協力を得て、
住民に全戸配布



ゴミステーションにも貼りだし

14

私が小さい頃は年末防犯として、警察官の方が商店街を巡回しておられたのですが、今はあまりやっておられないと思い、平成 26 年から地域内の商店約 100 店舗にチラシとティッシュを持って「防犯活動をお願いしますよ」と呼び掛ける活動を始め、今も続けています。

また、今年は、防犯電話の機能を紹介するチラシ、上半期の犯罪件数と被害額のチラシ、詐欺の手口を紹介するチラシを、3 枚をセットにして全世帯に配りました。さらに、自治会長にお願いして、ラミネートした特殊詐欺のチラシをゴミステーションに掲示するようお願いして実施していただいています。

(9) 不審者情報等に基づき、パトロールの実施 (H27年~)

- ◆六条小学校からの不審者情報を受けてパトロール (数回/年)
- ◆金融機関強盗逃走時にパトロールを実施 など

(10) 地域安全会議の開催 (H28年~R2年)

- ◆防犯に関係する各地縁団体に呼び掛けて定期開催、課題解決を図った。計18回の会合を重ねて、一定の役割を果たしたため、『地域団体会議』に集約 (数日/年)

(11) 地域イベント参加 —安全見守り等— (H26年~順次)

- ◆さくら健康祭り ◆乾川清掃 ◆夏季合同巡回指導 (3日間)
- ◆夏休みラジオ体操 (3日間)
- ◆六条小学校ペンキ塗り
- ◆京西公民館清掃
- ◆六条ふれあい祭り など



(12) 調査・視察 (逐次) (1~2回/年)

- ◆防犯勉強会
- ◆自主防災防犯会防犯出前講座
- ◆榎原市金橋小学校区地域福祉推進委員会訪問 など

15

4. 課題

4-1. 活動の形骸化 —活動幅の拡大

警察からの動員要請のみに対応する体質から脱却して、活動の幅を拡大し地域の安全安心に貢献したい

4-2. 人材不足 —人材(人材)の確保

活動の幅拡大には、積極的な人材の発掘・確保が必要

4-3. 活動資金不足 —活動資金確保

公的な助成金がないため、活動幅の拡大には活動資金の捻出が必要

4-4. 会合場所の確保

京西公民館は住民の利用頻度が高く、駐車場が少ない人数が多くなると他の会合場所の確保が必要となった

4-5. (現在の課題) 委員の高齢化、後継者の確保

4-6. (新たな課題) 新型コロナウイルス時代の活動

新型コロナウイルス感染防止のため活動が抑制気味
再開策必要

16

私たちは、今までお話しした活動に加え、地域のボランティア活動、イベント、勉強会にも積極的に参加し、防犯をみんなに知ってもらうよう心掛けています。六条小学校のペンキ塗り活動は、防犯には関係ないですが、このような地域イベントに参加することによって、周囲の人たちに私たちの活動を知ってもらうという効果があると思っています。

活動の課題ですが、長年やっていると、いろんな問題があります。活動の形骸化、人材不足、資金不足、会合場所の確保、後継者の問題、そしてコロナ時代の活動の在り方です。

5. 課題の解決に向けた取組方策

5-1. 活動幅の拡大 —支部の沿革—

活動の形骸化を打開するために、意識改革を図り、出来ることから着手・拡大してきた

- ◆ ~H25年11月 10名程度 公の助成金無し
警察からの動員要請に対応のみ
各種大会・講習会・集いパレードへの参加・出席
- ◆ H25年11月~H27年10月 15名に増員 公の助成金無し
活動幅の積極的拡大を模索、改革開始
・定例の会議を開始
奈良署に防犯アドバイザーの参画を要請
・ATM立ち合いを開始
地域内ATM3か所で振り込み詐欺防止啓発活動
・年末特別警戒活動を開始
・警察、市より制服ジャケット支給のサポートを得る
・地域イベント(乾川清掃)に参加
・活動費は委員の寄付で賄う

17

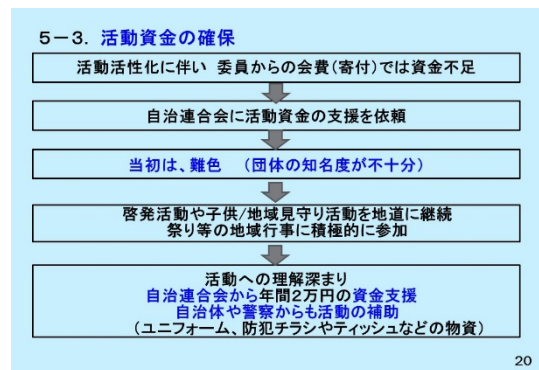
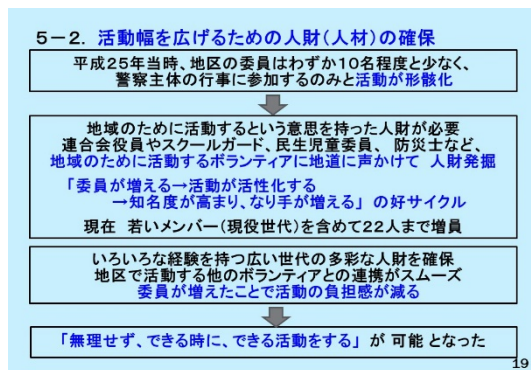
(つづき)

- ◆ H27年11月~H29年10月 13名 公の助成金無し
・交通安全啓発活動開始
・いろいろな地域イベントに順次参加
・犯罪情報(悪質回収業者にご注意!)を地域に回覧
・自治連合会より資金助成を受ける
- ◆ H29年11月~R元年10月 19名に増員 公の助成金無し
・防犯パトロール開始
・ながら見守り活動開始
・地域安全会議開始
・小学校周辺道路ゾーン30設定運動に参画
- ◆ R元年11月~(現在) 22名に増員 公の助成金無し
・小学校周辺道路ゾーン30指定実現
・ゾーン30の啓発活動開始
・犯罪情報(特殊詐欺にご注意!)を地域に全戸配布

18

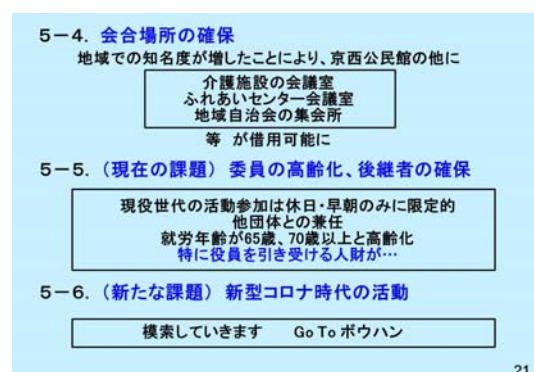
課題の解決に向けて大切なことは、前期と同じことをやっていたら衰退の兆候があるということです。これは、現役時代に教わったことで、自然と身についていることです。それから、もう1つ

は、地域や地域住民によく目を向けるということです。こうやって見渡せば宝の山や。何かある。何かできることがある。私は委嘱を受けた時から、「地域のために活動しよう」と言い続け、そのつもりでやってきました。その結果、段々と、わずかなずつですけど活動が増えてきています。形骸化を防ぐためには、やはり常日頃から、宝の山を探すことに尽きると考えています。



それから、人材の確保ですが、急には人を探すというのはなかなかできません。先ほど話したように、私たちの団体は、いろんな団体のいろんな人たちが集まっています。そのためにはやはり多くの人と話し合う、多くの人と議論することが大切です。こうして得られた人たちは、何かの時に「あの人が良いな」「あの人があったらこれに向いているな」と感じた人です。こうして当初 10 名だったメンバーが、現在では 22 名となりました。みんなやる気のある人で、委員が増えれば活動が活性化する。知名度が高まり、なり手が増える。これが割合簡単にできるようになってきたと思っています。

活動資金ですが、これは、平成 25 年の時は全くゼロでした。何も無い。だから活動もできなかったと思います。そこで、平成 26 年に「何でも話そう会」で活動資金を何とかせなあかんと話し合い、いろいろ擦った揉んだした結果、「みんな 1,000 円ずつ払おう。」と委員からの発案により寄付を募ることにしました。これを資金に活動を始めました。いつまでもみんなからの寄付ばかりで活動するわけにいけないので、連合会に「何とか支援してよ」と話をしたのですが、その時は知名度が少なく難色を示されました。平成 29 年になって、やっと連合会から 1 万円の支援があった。平成 30 年からは 2 万円の支援がもらえるようになりました。だけどまだ足りないので時々寄付を集めているという状況です。



会場場所ですけど、基本は公民館を借りていますが、人数が増えるたびに部屋が段々と無くなってきました。そこで介護施設の会議室、自治会の集会所等、様々な場所を確保して何とか会場場所は確保できるようになりました。

後継者の確保も問題で、長いこと活動をしています、いまだに見つからない。委員にはなってもらえるけど、役員になると難しい。これはまだ解決してないから、

今も私がやっています。早く後継者を見つけないと思っています。

それから新型コロナへの対応ですが、今年は様々なコロナ対策を行って活動しました。新型コロナがいつまで続くかわからないのですが、今も犯罪は発生しているので、「Go To 防犯」という気持ちで、今後も続けていきたい。その場その場で対策を考えたいと思っています。

【今後】 一地域の安全安心を守る一

今後も、地域住民の皆様や各地縁団体から今まで以上に認められ信頼されて、より安全・安心な地域づくりを目指して、さらに活動を継続・拡大してまいります。

地域で繋がる！
子供/地域住民を見守る！
住民に防犯・交通安全を呼びかける！

22

今後の活動ですが、今までどおりやっていったら、どこかでパンクする。だから見直しが必要なこともあります。この活動をしてきて思うことは、私たちの活動は、受け身の活動になりがちということです。泥棒が来るから鍵を掛ける。電話がかかってくるから、電話機を変える。スピードを出して走る車があるから、子供を守る。どれも大切な活動ですが、全て受け身の活動です。いずれは、犯罪者がこの地域に入って来られない、近づ

けない、もし近づいてきても「やめておこう。ここではちょっとヤバイな」という印象を与えられるような防犯活動を、今後も続けていきたいと思っています。以上で西の京支部の発表を終わります。

防犯ボランティアフォーラム 一近畿ブロック一

完

ご清聴ありがとうございました

2020年11月 7日

地域安全推進委員 西の京支部
支部長 飯田元親

23